

製品名: パキシリンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe03137

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,IP |
| 反応性 | 人間、ネズミ、ハムスター |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル抗体 |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | Calculated MW: 65 kDa; Observed MW: 65 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------|
| 遺伝子名 | PXN |
| 別名 | PXN; Paxillin |
| 遺伝子 ID | 5829 |
| SwissProt ID | P49023 |
| 免疫原 | ヒトパキシリンの合成ペプチド |

背景

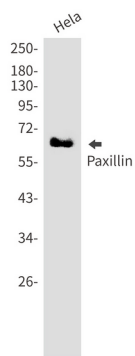
細胞外マトリックスへの細胞接着部位（フォーカルアドヒージョン）におけるアクチン膜への接着に関与する細胞骨格タンパク

質。PXNは、主に細胞外マトリックスへのフォーカルアドヒージョン部位に局在する多ドメイン細胞骨格タンパク質である。フォーカルアドヒージョンキナーゼ (FAK) によってリン酸化され、インテグリンシグナル伝達の構成要素である。そのリン酸化は、シグナル伝達分子をフォーカルアドヒージョンにリクルートするためのドッキング部位を提供する。

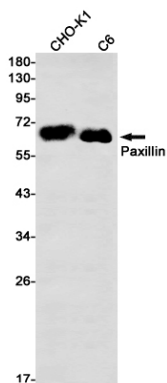
研究分野

シグナル伝達

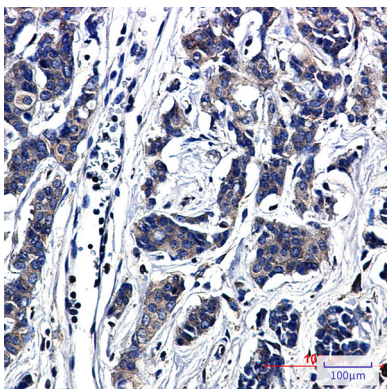
画像データ



Paxillin 抗体を使用した HeLa 溶解物中の Paxillin のウェスタン ブロット分析。



パキシリン抗体を使用した CHO-K1、C6 溶解物中のパキシリンのウェスタン ブロット分析。



パキシリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。